うさぎ組だより　6月

尚徳福祉会　とちょう保育園

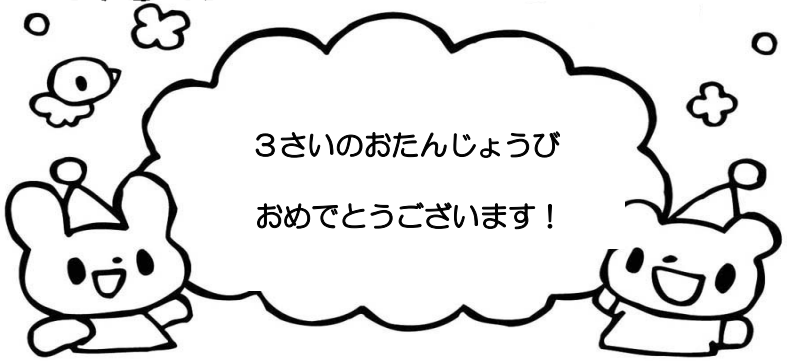
春から夏へと季節が移り変わるこの時期、晴れたり雨が降ったりと忙しくなりますね。でも、子どもたちは室内や戸外に関係なく元気いっぱいに好きな遊びを楽しんでいます。先日、お散歩に出る際、都民広場の花壇に大きなカタツムリを３匹みつけました。ちょうど頭を出していて、皆は興味津々で見守っています。じっと静かに観察したり、大きさや形など発見したことをお友だちと伝え合ったりする横顔が、おにいさんおねえさんになってきました。遊びや身の回りのことをする中で子どもたちが気付いたことに担任たちがハッと驚くこともあります。今月もたくさんの発見を楽しみながらみつけていきたいと思います。感染症の影響からご家庭で保育されているご家庭でもお散歩の際、カタツムリやアジサイなど季節の自然物をみつけたら、足を停めてみてくださいね！

６月から新しいお友だちが入園します。
よろしくお願いいたします。

６月の目標

・寒暖差に注意し、快適に過ごす。
梅雨で寒暖差が激しくなる時期です。気温や活動に応じて、衣服の調節や水分補給を行い、体調管理に留意して過ごしたいと思います。
・保育士の仲立ちのもと、ごっこ遊びを行ない、友だちと関わる楽しさを味わう。
友だちと同じ遊びをして「楽しい！」経験をたくさんしていきたいと思います。

６月生まれのおともだち



さやとり体験でやさいと仲良し

５月から食育の一環として、ソラマメとグリンピースのさやとり体験を行いました。絵本のソラマメ君シリーズが大好きな子どもたちは、本物のマメを目の前にして、触ったり、においをかいでみたり、味覚以外の五感を目一杯に働かせながら、その感触を確かめていました。さやを振ってみて「マメがゆれてる！」「おっきいマメがある。あ、赤ちゃんがいるよ（小さなマメ）」と気付いた子もいました。その日のお昼ごはんやおやつに入ったマメを見つけると、「むきむきしたマメだ!!!」と大興奮でした。今後も季節の野菜の皮むき体験を予定しています。また、紙芝居や絵本なども活用して、野菜の働きを伝えながら『食』への興味を育てていきたいと思っています。ご家庭でもぜひお手伝いがてら一緒に皮むきなどしてはいかがでしょうか。